

報 道 資 料

平成 29 年 9 月 27 日

担当：奈良県水道局 業務課
県域水道ファシリティマネジメント係
浦井・丸山 0742-20-4623（ダイヤルイン）
平群町上下水道課
島野・川口 0745-45-1004（ダイヤルイン）

市町村水道の水源の県営水道への転換について

～平群町が、県営水道 100%に～

○市町村水道から県営水道への水源転換

県では、県営水道と市町村水道の二重投資を回避し県域全体の投資の効率化を図る「県域水道ファシリティマネジメント」の一環として、更新が必要となった市町村の浄水場を廃止して、水源を県営水道に転換する「県水転換」を進めています。今年度は6月に川西町、10月に平群町、年明けには王寺町が全ての水源を県営水道に転換します。また御所市が一部転換を予定しています。

○平群町が県営水道 100%に

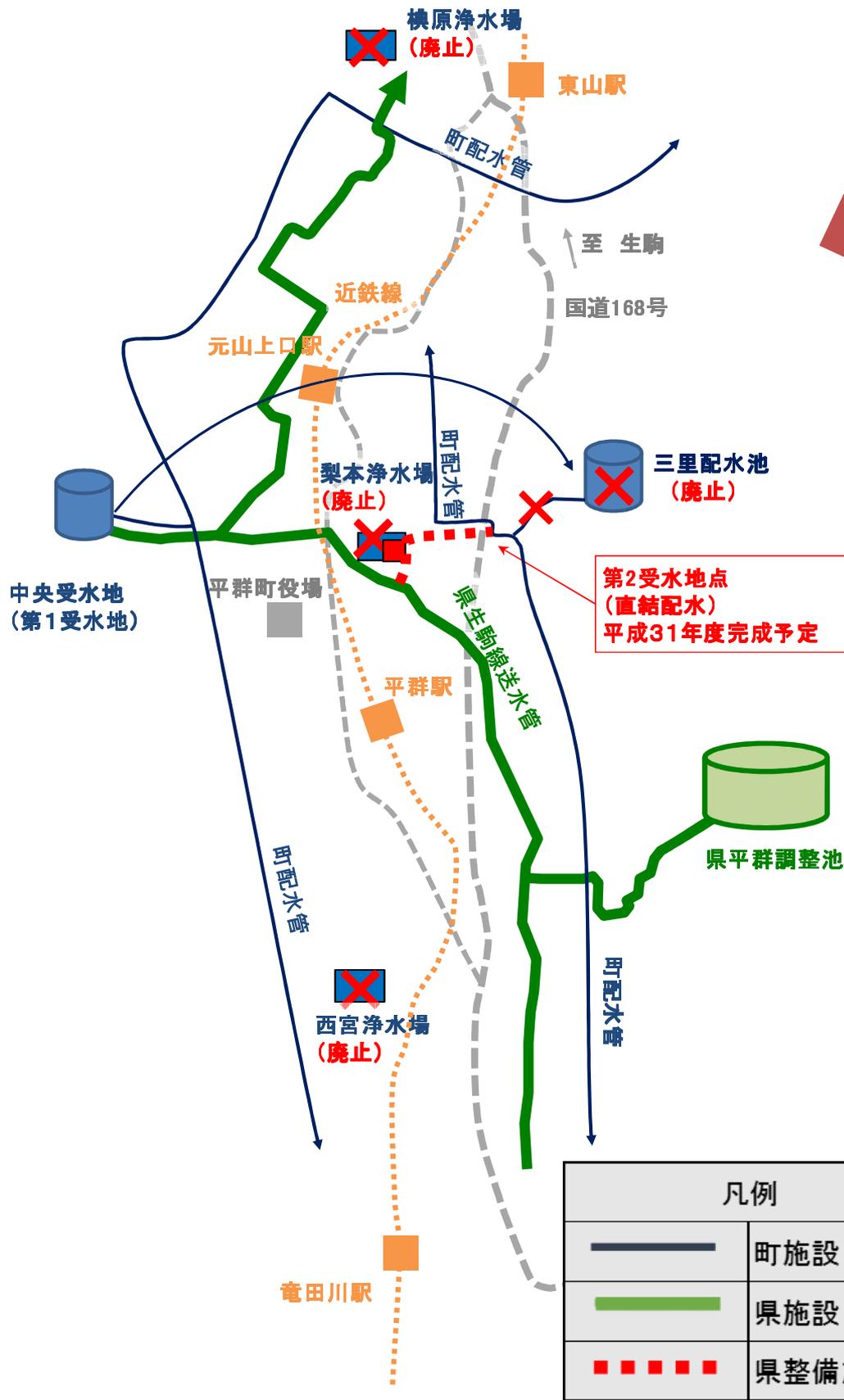
平群町は10月1日、これまで最大で給水量の約3割を占めていた自己水源を廃止し、県営水道に全量転換します。

[費用削減と安全の確保]

平群町ではこれまで、町内3箇所の浄水場で自己水を供給してきましたが、施設の老朽化や水質の悪化により、年々取水量が低下し、近年では総配水量の10%以下にまで落ち込んでいました。この浄水施設を更新する場合には、新たに耐震化対策や、防犯対策の強化も必要でした。県営水道に転換することで、これら浄水場に係る投資的経費の削減が可能となり、水質の安定化が図れ、安全性が強化されます。

また、これまでは町内1箇所の受水地で県営水道から給水を受けていましたが、平成31年度に第2受水地点を新設し、県営水道の位置エネルギーを利用して各家庭に配水する直結配水を実施することにより、リスクの分散と老朽化した配水池1基（1,000 m³）の更新が不要となります。

平群町県水転換に係る施設整備計画概要図



凡例	
	町施設
	県施設
	県整備施設